

ミラノのイベントに出展

デザイナー 高岡の技術で風鈴

東京のデザイナー、小泉創さん(33)が考案し、高岡銅器の技術を結集した風鈴

「SEVEN」が4月15(21日、イタリア・ミラノで国際的な家具の祭典「ミラノデザインウィーク」の期間中に開かれるイベントに出展される。小泉さんは「コンセプトや高岡の加工技術を伝えられれば魅力を味わってもらえると思う」と期待する。

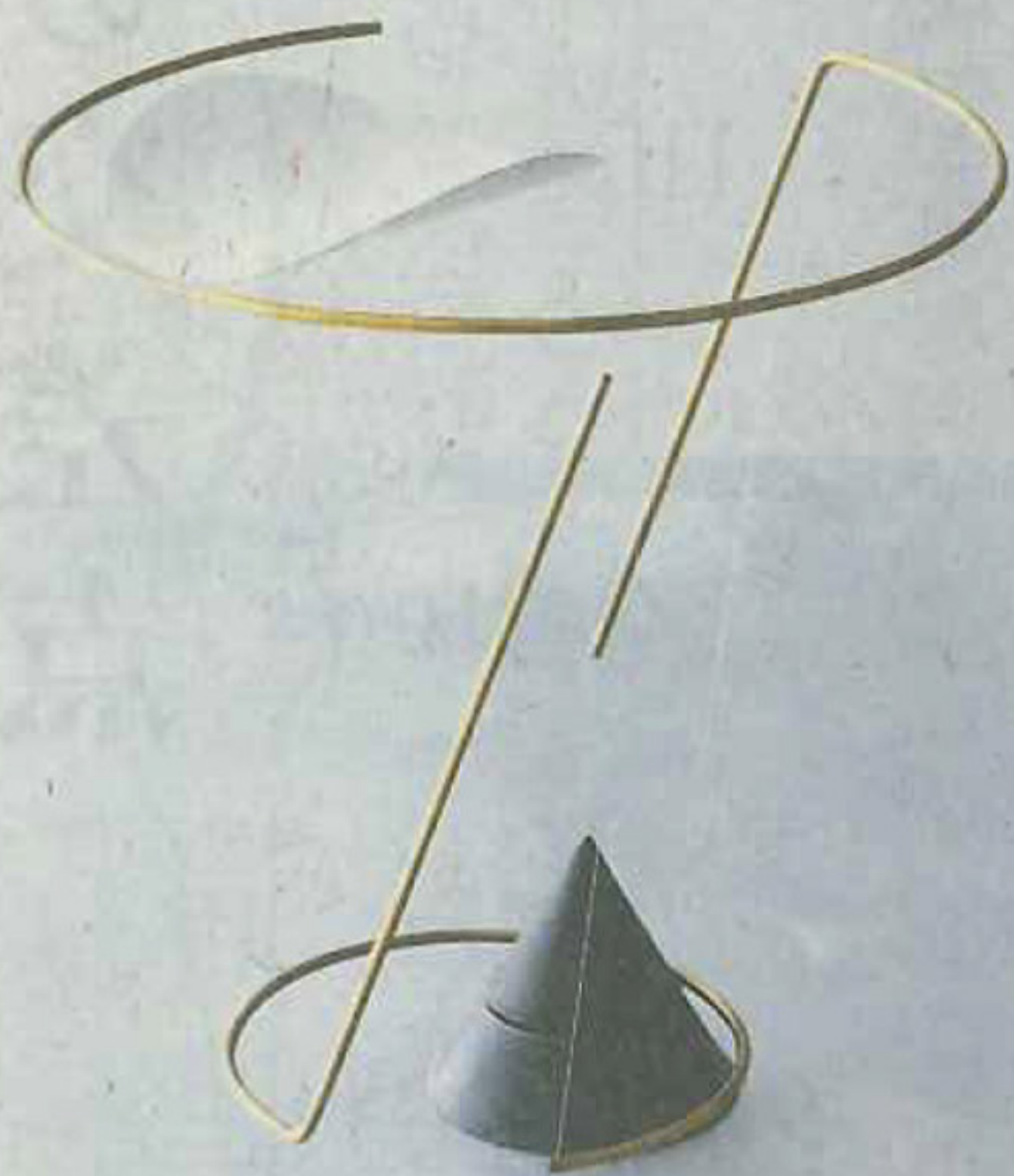
作品は真ちゅうを使った卓上型の風鈴で、透明な糸が引っ張る力と重力でバランスを保つ構造を採用。高岡伝統産業青年会が2021年に公募したデザインマッチングで、小泉さんと佐

野政製作所(高岡市長慶寺)が制作した。

ミラノデザインウィークはさまざまなイベントが開催される。小泉さんは、イベント企画団体が開く展示会「アルコバ・ミラノ」の審査を通過して初出展する。

若手の実力者らと共に、歴史的建築の大邸宅に作品を展示する。

小泉さんは「これまでにない視点、発想から生まれた作品。世界観に興味を持ってもらえれば」と話した。



イタリアのイベントに出展する風鈴「SEVEN」(SO KOI ZUMI DESIGN提供)